

## 《交流分析研究編集委員会》

|        |       |                             |
|--------|-------|-----------------------------|
| 編集委員長  | 小澤 真  | 聖徳大学心理・福祉学部心理学科             |
| 副編集委員長 | 鈴木 佳子 | 青山学院大学学生相談センター              |
| 編集委員   | 篠崎 信之 | 東洋大学文学部教育学科                 |
| (五十音順) | 柴山 修  | 横浜労災病院心療内科                  |
|        | 甚五 和也 | 葛飾橋病院                       |
|        | 山北 高志 | 藤田医科大学岡崎医療センター皮膚科           |
|        | 吉原 一文 | 九州大学キャンパスライフ・健康支援センター健康科学部門 |

### 編集後記

このたび本誌の編集委員長を拝命しました。再び理事長に就任されました江花先生が巻頭言で「学問的研究とその深化」を課題の1つに挙げておられます。本誌が研究の深化に貢献できるようその使命を果たしてまいります。どうぞよろしく願いたします。さて、本号では第48回学術大会と第51回中央研修会を特集しました。第48回学術大会の松隈先生の教育講演と丸岡先生の会長講演からは、交流分析がポジティブ心理学の前向きな光を浴びてさらに輝いている印象を受けます。また第51回中央研修会の白井先生の基調講演と内山先生、押川先生の症例提供と中村先生のコメントからは、「あたたかいふれあいを取り戻そう」のテーマ通りに、久しぶりに対面で開催された会場でのあたたかいストロークの交換の様子が伝わります。このたび、査読の明記、利益相反、メールによる投稿など今日的な課題に対応して投稿規定を改定しました。会員の皆様におかれましては奮ってご投稿いただきますようお願いいたします。

(小澤 真)

### ■投稿規定

- 1) 本誌への投稿は、日本交流分析学会会員を筆頭著者および責任著者とする論文に限り受け付けます。他誌に掲載された論文の投稿はご遠慮ください。交流分析およびその近接領域に関係した未公開の原著論文、資料、意見、実践報告、書評、ならびに総会のための資料、記録、その他を掲載します。ただし、理事会もしくは、編集委員会決定により、会員外の著者に投稿を依頼することができます。論文の採否、掲載順などは、査読を経て、編集委員会が決定します。
- 2) 論文投稿は、本学会のホームページに載っている「倫理要綱ならびに運用細則」に則るものであることを要します。症例報告を含む場合、個人の人権とプライバシーの保護を遵守し、倫理的配慮を行ったことに言及してください。また論文の執筆者全員は、投稿論文内容に関して利益相反のある金銭上あるいは私的な関係すべてを明らかにする必要があります。申告すべき内容がない場合は、論文の末尾に「利益相反自己申告：申告すべきものなし」と記載し、申告すべき内容がある場合には、××は〇〇株式会社から資金援助を受けている（社員である・顧問である）のように記載してください。
- 3) 原稿はA4判横書き40字×30行、各行に行番号が入るよう設定して執筆してください。外国の人名、薬品名は原語、術語は邦語を用い、必要なら（ ）内に原語を入れてください。図表は本文とは別個に、1点につき1枚ずつ作成してください。原著論文は、序論（緒言・はじめに）から開始し、方法・結果・考察が含まれることを確認してください。原著論文、資料、意見は10,000字以内、書評、実践報告は4,000字以内を論文の長さの目安とします。
- 4) 文献は本文の終りにまとめて番号をつけ、これを本文中に引用するときは、1)、2) のようにしてください。文献は必要な最小限度とし、著者名、題名、誌名、巻数、頁（初めと終わり）、発行年次、単行本のときは著者名、書名、発行所名、発行地（外国のみ）、発行年次を記載してください。雑誌名の記載に際しては、和・欧いずれの場合でも、略さず正式名を用いてください。
- 5) 投稿に際しては、本文および図表（各1部）に、指定書式による投稿票・著者票を添付してください。投稿票・著者票は本学会のホームページからダウンロードしてください。
- 6) なるべく多くの論文を取録するために、当分の間以下のごとく掲載料を定めます。本誌10頁までは無料、それを超えるときは1頁につき5,000円、また図表、アート、写真などで製版、用紙、印刷にいくべつの費用を要するときは、実費を投稿者の負担とします。
- 7) 本誌に掲載された著作物の著作権は、本学会に帰属します。
- 8) 電子メールにより投稿される場合は、PDFファイルまたはWordファイルの原稿を添付し、株式会社金子書房内『交流分析研究』投稿論文受付係（koryu@kanekoshobo.co.jp）に送信してください。

郵送により投稿される場合は、〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7 株式会社金子書房内『交流分析研究』投稿論文受付係宛（TEL 03-3941-0113、FAX 03-3941-0163）に送付してください。